

九条の会

秋葉区「九条の会」事務局
新津教育会館内

新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-21-3691 Fax 0250-21-3692

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~hiro-line/nk9jo/index.htm>

憲法9条守れ！ 戦争反対！

街宣車で秋葉区の隅々まで回りました

8月6日から3日間、「世界の宝、憲法9条を守ろう！」「戦争には怒りをもって反対しよう！」との思いを宣伝カーで訴えました。

6日は小須戸～矢代田、金津～古津、小合地区。
7日は駅西地域、荻川～満日、車場～市之瀬地域。
8日は本町～北上、新町～柄目木～秋葉、小口～新関方面。3日間で、ほぼ秋葉区全域を走りました。

酷暑の中、宣伝カーを運転し行動された皆さん！
ご苦労さまでした。



活躍した宣伝カー

秋田に「市長村長9条の会」が結成！ 8氏呼びかけ、現・元首長19人賛同

秋田県の市町村長経験者による「憲法九条を守る秋田県市町村長の会」が8月5日に結成されました。元横手市長ら8氏が呼びかけ人となり、現湯沢市長ら19人の現・元首長が賛同しています。

同会は「政党政派をこえ、九条を守るという一点で」まとめ、今後とも現・元の市町村長への働きかけを行い、広く県民へ「憲法九条を守るアピール」を発表すること、県内の地域・分野の「九条の会」と連携し、県内の九条を守る運動を強めていくことにしています。

結成を知った県民からは、「市町村長さんが先頭に立ってくれれば運動の励みになり、県民世論が大きく高まる」と歓迎の声があがっています。

ドレイにならない！

星山 圭(本町)

ハイ ご主人様 おおせのままに

『アメリカが要求することに「ハイ ご主人様、おおせのままに」と答える日本を作れ』と講演したのは、ブッシュ政権の元高官マイケル・グリーン氏。6月、自民党本部でのことでした。

出席者から「バカにするな」「内政干渉だ」と抗議の声があがるかと思いきや、「改憲も海外派兵も思うにまかせない。このままではアメリカに見捨てられる」との声があがったというのですから、まさにドレイです。これまでも9条をかえようという、あからさまな干渉発言がたびたびありましたが、これほどムキだしのことは聞いたことがありません

拒否のあかし

しかし、日本国民は決してアメリカのドレイにならないことを、7,040をこえた9条の会や改憲反対が賛成が上回った世論調査が示しています。

弾圧に警戒を

一方、9条の会が広がるにつれて、干渉や規制の動きが強まっています。神奈川県箱根町は公民館の使用に「9条堅持の偏った主張は避ける」などの条件をつけました。「新憲法制定議員連盟」が9条の会に対抗する方針を決めたもとの、こうした動きは今後全国的に広がるのが予想されます。国民の運動を敵視、監視する自衛隊情報保全隊、各地で頻発するピラ弾圧事件など、警戒を怠らずに運動を更に強めて、そうした動きを封じ込めていくことが必要です。

平和のメッセージ

秋葉区のすみずみまで響かそう、
皆でつなく、平和のメッセージを！

長岡空襲

福本 キヨノ(新町)

あれは昭和20年8月1日、私の小学校3年生の夏休みのことであった。私は宮内駅近くに住まいしていた。夜、10時30分、寝ていた所を父母にたたき起こされ、田んぼの畦道を泣きながら、転びころび山の方に向かって走った。途中、家の方を振り返ると、空が真っ赤に焼け、焼夷弾が花火のように火を噴きながら落ちてくるのが見えた。私たちは栖吉川に身を沈め、じっと息を殺すようにして一夜を過ごした。

翌日、家の焼け跡へ行ってみた。一面の焼け野原で、自分の家がどこにあったのか見当がつかなかった。家の脇に柿の木があった。焼けて枝ばかりになっていた枝の先端に、私の家で飼っていた三毛猫が、枝にしっかりつかまったまま死んでいた。体中の毛が焼け焦げていた。向かいの武部さんは、牛を2頭飼っていた。私は、毎日遊びに行っては、牛の頭をなでていた。1頭の牛は黒焦げになっていた。もう1頭は、足を折り曲げて、荒い息をフーフーと苦しそうに吐いていた。おじさんは、声を上げて泣きながら出刃包丁で牛の腹を裂いた。どっと血と内臓が流れ出て、牛は死んだ。私たち子どもは、声も立てずに、その様子をじっと見続けていた。

従兄弟の正一さんは、家を出るとき背中に焼夷弾の直撃を受けた。背中の火を消そうとして、家の前の小川まで這って行って、水の中に入ったそう。幸い近所に外科医がおり、一命は取り止めたが、その傷は背中いっぱい広がっていた。

長岡空襲は、B29、125機による百分に及ぶ無差別じゅうたん爆撃で、死者1,476人を出したと報じられている。平和な世の中になって、私はコーラスや絵を楽しんでいる。平和のありがたさを身に沁みて感じている毎日である。

映画「靖国」を観て

板橋育夫(新町)

映画「靖国」は、毎年8月15日の有様を淡々と撮り続けた記録映画である。旧日本軍の軍服を着て「天皇陛下万歳」と叫ぶ人。星条旗を掲げ、的外れな主張をして追い出されるアメリカ人。境内で開かれた追悼集会で抗議をしたために、袋叩きにあう青年。靖国に祀られた魂を返せとせまる台湾や韓国の遺族たち。

第2次世界大戦は、莫大もない死者を出して、多くの人達の運命を変えて終結した。しかし、あの戦争は、正義の戦争であって「悪くないのだ」と主張したい人達が、この国にはまだ多くいるのだと強く感じさせる映画だった。

精鋭関東軍一兵隊の終戦

佐藤 恭二(金沢町)

私は、終戦時、関東軍の一兵隊として旧満州撫順郊外の山の中で、首都新京(現長春)目指して迫り来るソ連軍を迎え撃つべく、わが身を隠す蛸壺堀りをしていた。20日前に召集された銃も満足に扱えない星一つの新兵。与えられた銃は3人に1挺、弾も僅か、剣たるや全くのおもちゃで、銃にもつけられず、下げているのが恥ずかしい。円匙(エンピ:野営用スコップ)は、すぐにパカッと柄からとれて使いものにならない。これは現実か?3日後にはソ連戦車が来るというのに。余りのことにあぜんとして決死の緊迫感も不思議と消えた。「作業やめ」の中隊長命令が伝えられる。日本は負けた!口惜しい!が、もう戦わなくてよいのだ!

- 想えば小学6年生で満州事変、25歳まで戦争の時代であった。軍隊は国民生活の犠牲の上に成り立ち、戦争は罪なき人々を殺傷する。そして、兵器大企業は笑いが止まらない。「護国、正義」の名において。人間は何と愚かなことをくり返してきたことであろう。しかし、これからの世代、人間は必ずや戦争と決別する世界を実現する。私は信じる。

「核廃絶・憲法順守」を訴える

平和記念式典「平和宣言」

広島市の秋葉忠利市長は8月6日、今年の平和記念式典の「平和宣言」のなかで、「原爆体験の悲劇と苦悩から導かれた“核兵器廃絶”は多数派の意志」であることを述べました。

そして、目指すべき方向と道筋が明らかになった今、必要なのは「子どもたちの未来を守る強い意思と行動力である」と訴えました。

また、我が国政府に対して“憲法を順守”し、「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の採択のために、各国政府に働きかけるなど核兵器廃絶に向けて主導的な役割を果たすことを求めました。

さらに、「黒い雨降雨地域」や海外の被爆者も含め、また原爆症の認定にあたって、高齢化した被爆者の実態に即した温かい救護策の充実を要請しました。

第3回「全国交流集会」が開催されます

とき 11月24日(月)

会場 日本教育会館

九条の会 3回全国交流集会 運営委員会
(なお、実施要綱は別途発表されます)